

2019年度以降の取組についても検討を進めています！

「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）」は、2018（平成30）年度末までの計画ですが、緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。そこで、これまでの取組の成果などを踏まえ、2019（平成31）年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組[2019-2023]」の素案をまとめ、1月から2月に素案に対する市民意見募集を実施しました。この市民意見募集で寄せられたご意見などを踏まえ、「**これからの緑の取組[2019-2023]**」の原案を策定し、検討を進めています。

横浜みどりアップ計画
（計画期間：平成26-30年度）
【2014-2018年度】

このリーフレットで
実績を報告
しています

これからの緑の取組
[2019-2023]
【2019-2023年度】

現在、検討を
進めています

「これからの緑の取組[2019-2023]」（原案）の概要

取組の理念 **みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜**

5か年の目標

- 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

取組の柱 1 市民とともに次世代に つなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定された樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



取組の柱 2 市民が身近に 農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



取組の柱 3 市民が実感できる 緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを集中的に展開



この3つの取組と合わせ、効果的な広報の展開に取り組めます

「これからの緑の取組[2019-2023]」（原案）の総事業費は502億円です。この取組における横浜みどり税を含めた財源の検討も進めています。

「横浜みどりアップ計画」の4か年の評価・検証及び「これからの緑の取組」（原案）は、次の場所で閲覧できます

- 各区役所広報相談係
- 市民情報センター（市庁舎1階）
- 環境創造局政策課

環境創造局のウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

問合せ

「横浜みどりアップ計画」及び「これからの緑の取組[2019-2023]」（原案）について ▶ 環境創造局政策課 … TEL 045-671-4214 FAX 045-641-3490
「横浜みどりアップ計画」の各事業について ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 … TEL 045-671-2712 FAX 045-224-6627
「横浜みどり税」について ▶ 各区役所税務課又は財政局税務課 … [財政局税務課] TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

平成30年6月発行：横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画

計画期間
平成26-30年度

4か年の実績 概要（平成26～29年度）



HAG（ハンドメイド・アニメーション・グランプリ）2017横浜賞 作家：胡ゆえんゆえん



池辺市民の森（都筑区）



田奈恵みの里（青葉区）



山下公園（中区）

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、

「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

横浜市では、平成26～29年度の4年間を振り返り、「横浜みどりアップ計画」の事業・取組の評価・検証を行いました。

このリーフレットでは、その概要版として4か年の事業の実績をまとめています。



横浜みどりアップ計画 4か年 の実績 概要 (平成26-29年度)



取組の柱 1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

森の保全が進展 328.4ha指定 88.5ha買取り

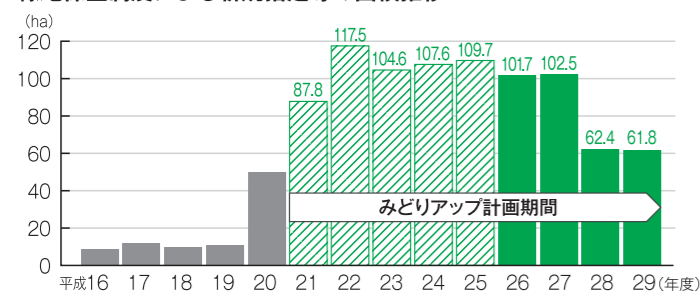
特別緑地保全地区、市民の森などの制度による指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区などの指定地で、土地所有者の不測の事態などによる買入れ申し出に、着実に対応しました。

■ 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り



新規指定した特別緑地保全地区(金沢区) 土地の買取りをした市民の森(旭区)

■ 緑地保全制度による新規指定等の面積推移



森への関わりが広がり、深まる

森に関わるきっかけとなるイベントを開催したほか、生物多様性への配慮や利用者の安全確保など、愛護会などと連携しながら良好な森を育成するための取組を進めました。

■ 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全に配慮した森づくりを推進 **維持管理した森のべ 561か所**

■ 樹林地維持管理助成

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の維持管理作業を支援 **405件**

■ 森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内の樹林地等で活動する団体に対して、森づくり活動を支援 **のべ 144団体**



森づくり活動団体への専門家派遣による研修(磯子区) みどりアップ健康ウォーキング(南区)



取組の柱 3

市民が実感できる緑をつくる

緑のまちづくりが進展 42地区

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働して進めました。

■ 地域緑のまちづくり



地域緑のまちづくり(栄区)



地域緑のまちづくり(緑区)

緑や花で街の賑わいを創出

都心臨海部において、花や緑による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開しました。全国都市緑化よこはまフェアの会場として多くの方が訪れ、花や緑を楽しみました。

■ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり



港の見える丘公園(中区)

グランモール公園(西区)

緑の少ない区に緑豊かな公園を開設

緑の少ない区(鶴見、神奈川、西、中、南)において緑豊かな公園の整備により緑を作り、街の魅力や賑わいづくりにつなげています。

■ 公有地化によるシンボリックな緑の創出



下野谷町三丁目公園(鶴見区)



取組の柱 2

市民が身近に農を感じる場をつくる

市内の水田の9割を保全 119.8ha保全

水稻作付の10年間継続を条件に土地所有者への奨励金を交付し、貴重な農景観である水田を保全しました。

■ 水田の保全



保全された水田(瀬谷区)

保全された水田(港南区)

良好な農景観の保全が進展

農業者団体が実施する農地周辺の維持管理の取組を支援したほか、意欲ある担い手に農地を長期に貸し付け耕作されたことで、良好な農景観が保全されました。

■ 多様な主体による農地の利用促進 109.9ha



長期貸付を開始した農地(泉区)

長期貸付を開始した農地(神奈川区)

農とのふれあいの場が着実に増加 農園の開設 19.2ha

市民ニーズに応じた多様な農園の開設のほか、直売所等への支援や農体験教室の開催を進めました。

■ 様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験から本格的な農作業まで、多様な農園の開設支援や整備を推進



収穫体験農園(戸塚区)

環境学習農園(戸塚区)

農園付公園(港北区)

気軽に農を体験する

本格的に農を楽しむ



効果的な広報の展開

みどりアップ計画の取組内容や実績について、様々な方法で広報しています。

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績概要リーフレットの自治会・町内会回覧
- イベントによるPR
- 電車・バスなどの交通広告



横浜みどりアップ 葉っぱー



電車やバスの広告



イベントによるPR(保土ヶ谷区)

横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画の評価・提案、市民の皆さんへの情報提供をする、市民参加の組織です。現地調査や会議を実施するほか、広報誌を編集・発行しています。また、計画の推進に向けた評価・提案などを毎年報告書としてまとめています。

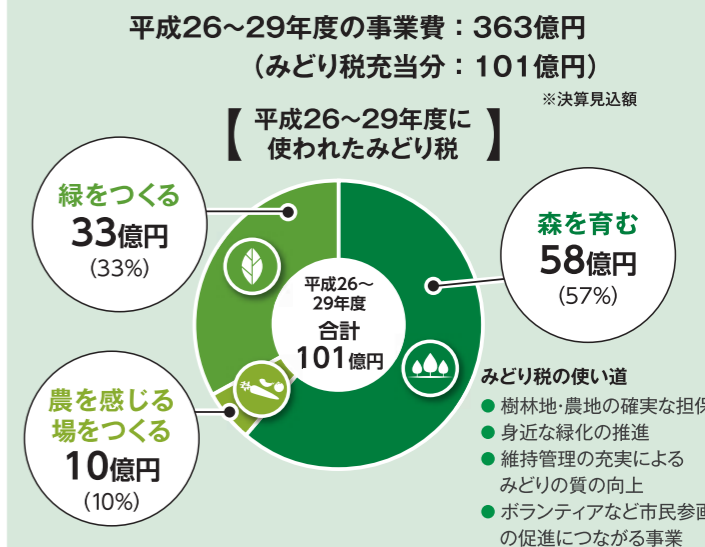


市民推進会議

検索

広報誌「みどりアップQ」

事業費と横浜みどり税 (平成26~29年度の累計)



横浜みどり税の課税方式

個人	市民税の均等割に上乗せ 900円/年※ ※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。
法人	年間均等割額の 9%相当額/年



●総合コーディネーター&講師

長田 英史 (おさだ てるちか)

NPO 法人れんげ舎代表理事/合同会社ファロルモ代表

学生時代に始めた「子どものための居場所づくり」を卒業後もつづけるため、就職せず団体設立。28年の豊かな活動経験から、プレイヤー目線の「場づくり支援」を展開。全国各地で講演やコンサルティングを行う。

1972年、神奈川県茅ヶ崎市生まれ。和光大学在学中の1990年より「子どもの居場所づくり」に関する教育運動に参加。まだNPO法人格も存在しない当時、大学卒業後は就職せず、活動を仕事にしたパイオニア的な存在。長年の活動経験を活かして、他団体へのコンサルティング、講演、執筆などを精力的にこなす。著書『場づくりの教科書』芸術新聞社(2016年)は、Amazon NGO・NPO ランキング 1位獲得。東京ボランティア・市民活動センター『居場所づくりがきょうとくまくいくハンドブック』編集委員。無料メルマガ『場づくりのチカラ』配信中。http://bazukuri.jp

「いそご地域づくり塾」とは？

少子高齢化や人口減少が進む中で、地域における課題は多様化、複雑化しています。こうした状況の中で、地域の実情に応じて課題の解決や地域づくりを進めていくには、自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体の人々、NPO法人や企業などと区役所等が連携して取り組む必要があります。

こうした取り組みを進めていくために、先進的な事例の現地見学やグループワークを通じて、地域活動を担う区民と区役所職員がともに、課題解決の手法や魅力づくりを進める力を養うための場が「いそご地域づくり塾」です。

【募集要項】

対象：磯子区内で新しく居場所づくり等の地域活動を始めたい方・活動中の方で活動を一段上へ引き上げたい方 *昨年受講された方はご遠慮ください

定員：25名(申込み多数の場合は抽選。全回参加できる方)

参加費：無料(見学先での飲食代や交通費などは各自負担)

開催日：①2018年9/19、②10/3、③10/17、④10/31、⑤11/14、⑥11/28、⑦12/12(開催時刻は裏面に記載)

会場：磯子センター、磯子区役所会議室ほか

申込み：2018年8月14日(必着)

【お申し込み方法】



下記ホームページからどうぞ。

<http://isogo.bazukuri.jp>

電話、FAX、メール、郵送でのお申し込み及びお問い合わせは、いそご区民活動支援センターまで。お申し込みの際は、①お名前、②ご住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤この講座をどこで知ったか、⑥保育希望の方は人数と年齢を必ずご記入ください。

いそご区民活動支援センター

〒235-0016 磯子区磯子3-5-1

TEL: 045-754-2390 FAX: 045-759-4116

メール: is-shienc@city.yokohama.jp

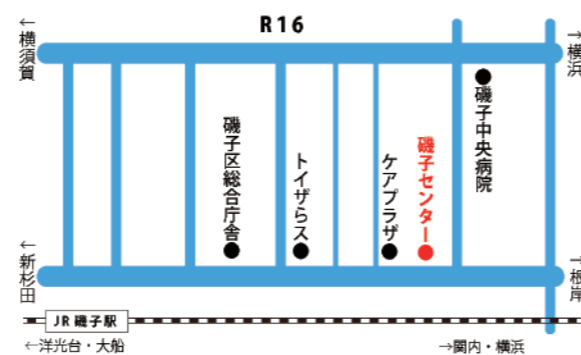
お子さんと一緒に通えます



いそご地域づくり塾には保育があります。1歳~未就学児が対象ですが、詳しくはお問合せください。

*訪問の回(第4回)を除く

【第1回会場「磯子センター」へのアクセス】



磯子区磯子3-1-41 JR 磯子駅 徒歩12分

地域の居場所づくりをはじめよう!

<http://isogo.bazukuri.jp>

- ✓ 問題意識を共有できる居場所をつくりたい
- ✓ 「認知症カフェ」や「子ども食堂」などを開きたい
- ✓ 自宅や所有する施設を地域に開放したい
- ✓ 地域サロンを開きたい
- ✓ 高齢者や子どものための居場所をつくりたい
- ✓ 施設の空きスペースをコミュニティカフェにしたい
- ✓ 悩みを話し合える安全な場をつくりたい



2017年度のいそご地域づくり塾

自分らしく呼吸できる居場所は、だれにとっても必要です。自宅や学校、職場以外にも、自分らしく過ごせたり、新しいつながりがつくれる居場所があったら、地域で暮らす人たちはもっと元気に、地域はもっと豊かになるのではないのでしょうか。「地域サロン」「子ども食堂」「認知症カフェ」「コミュニティカフェ」「居場所スペース」など、居場所づくりの可能性は多岐にわたっています。自宅を開放する住み開き、公共施設などを利用して開かれる居場所、店舗型の居場所など、方法はたくさんあります。「いそご地域づくり塾」では、居場所づくりのやり方・考え方を、基本からじっくり学べます。

主催 / 磯子区役所・磯子区社会福祉協議会・NPO 法人れんげ舎

全7回の学びの場

【3つの学びを組み合わせ、居場所づくりを始め継続させるための力をつけられます】

座学



運営にはノウハウが必要！
必要な知識を身につけます。

訪問



現場を訪問して活動中の方
からお話をうかがいます。

ワーク



あなたづくりたい場は？
イメージを膨らませ計画します。

いそご地域づくり塾の今年のテーマは「居場所づくり」。地域の居場所づくりなどの活動を始めたい方の方に開催されます。実践中の方で、基礎から学び直したい方の参加も歓迎します。質の高い座学と、現場を知るための訪問、そして自分のづくりたい場を計画するワークの3つの要素で構成されています。

第1回

居場所づくりをはじめよう！ あなたのやりたいことって？

9月19日(水)10時~12時半
@磯子センター4F多目的研修室

全7回の初回は交流しながら楽しく始めます。居場所とはそもそも何か？ 居場所づくりに取り組む人が知っておく必要のある基本のきを学びます。あなたのやりたいことを探るワークもやります。

- はじめまして！自己紹介タイム
- 居場所とは？ 場づくりとは？
- あなたの内側にある願いとは？

第2回

居場所づくりのステップ！ ゼロから継続的な場をつくるまで

10月3日(水)10時~12時半
@磯子センター4F多目的研修室

自分発で、継続的な居場所をつくり出すまでのステップとは？ 仲間を見つけたり、とっかかりとなる機会をどう作るかなど、居場所づくりの全体像を俯瞰します。

- 居場所づくりの3ステップ
- 居場所を支える主催者組織とは？
- 組織の立ち上げ方

第3回

運営の基本！ 信頼でつながるための 合意形成・会議のやり方

10月17日(水)10時~12時半
@磯子センター多目的研修室



居場所を維持するには、それを支える主催者組織を運営していくための力が不可欠。運営の肝である信頼でつながるための会議のやり方を学びます。

- 意思決定が運営を左右する
 - 会議とワークショップの違いは？
 - 全員で納得できる「会議のやり方」
- *終了後に交流ランチ会

第4回

10月31日(水)全日
@結カフェ、他



結カフェ

現場訪問 主催者の方から直接学ぼう

実際に地域で活動している居場所を訪
問したり、活動中の方からお話をうかが
います。主催者の目線とは？

【訪問とお話】

・結カフェ/平野みきさん
昨年2月、洋光台駅前の商業ビル1階
にオープンした多世代が集まる人気の
コミュニティカフェ。

【お話】

・フリースペース原町縁側/清水道子さん
地域住民の互助のため「顔の見えるつな
がり」を目的に開催される、住民による
住民のためのサロン（お茶会）。
・わんわんくらぶ/青山亜季さん
二十数年続く、歴史ある子育てサークル。
子どもだけでなく、ママ同士のつながり
も広がる“親子の広場”。

第5回

11月14日(水)10時~12時半
@磯子区役所7階会議室



継続的運営に不可欠な「情報発信」を学びます。
場所づくりプランにも着手。昨年度の受講生か
ら活動の様子も聞きます。

情報発信の秘訣

居場所づくりプランを考える（前編）

- 情報発信の作法
 - 自分らしいプランづくりの秘訣
 - 去年の受講生紹介
- *終了後に交流ランチ会

第6回

11月28日(水)10時~12時半
@磯子区役所7階会議室



いよいよプランを仕上げてください。「立派なプ
ラン」や「目新しいプラン」よりも、あなたにとっ
て確実に「次の一歩につながるプラン」をつく
りましょう。プラン作成にまずいたらお悩み
相談受付ます。

プラン作成お悩み相談会

居場所づくりプランを考える（後編）

- プランを仕上げている
- プラン作成お悩み相談会
- 関係する支援組織の情報

第7回

12月12日(水)9時半~12時半
@磯子区役所7階会議室

最終回は発表会です。一人ひとりの「次の一歩」
を発表し合います。最終日ですが、この日がス
タートでもあります。

- 発表会
- 講師からのアドバイス
- 補助金制度の紹介

居場所づくりプラン発表会 今後受けられる支援の紹介



0歳からの
ちいさなコンサート
ひよこコンサート
番外編

せんきよにこっ!

参加無料

ワンダー・ワンダー コンサート3

0歳から参加できる、
歌って踊って楽しむコンサート!
浅野 高瑛とハートフル・フレンズが贈る
せんきよと音楽の世界を楽しもう!!

第3回 すきなうた せんきよ 開催!!

<演奏>

浅野高瑛とハートフル・フレンズ



せんきよで選ばれた曲以外にも
みんなが知っている曲をたくさん
演奏するよ!

2018年 8月7日(火)

時間 11:30~12:30 (11:00開場)

会場 杉田劇場 5階ホール

3曲の中から1曲すきなうたをえら
んで投票してね! 1位に選ばれた
曲を当日に演奏するよ!

第3回すきなうた せんきよ			
アンダー・ザ・シー (リトルマーメイド)	ミッキーマウスマーチ	アンパンマンたいそう	候補曲



横浜市の選挙のマスコット
イコット Jr.

申し込み方法

下の記入例にならって、往復はがきでお申込みください。
往復はがき1枚につき4名まで申込み可能です。

【申し込み期間】

平成30年6月19日(火)~7月18日(水)(必着)

《記入例》

<p>62 〒235-0033 横濱市磯子区 杉田一丁目一 番一 号 横濱市磯子区民文化センター杉田劇場 (ひよこ選挙係) 行</p>	<p>【白紙】 ※何も記入しないで ください。 当日のチケットと なります。</p>	<p>62 〒 返信 【自宅住所】</p>	<p>① 代表者氏名 ② 住所 ③ 電話番号 ④ 申込み人数 ⑤ すきなうた (上の3曲から 選んでね)</p>
--	--	--------------------------------------	--

- (※1) 定員 300名。応募者多数の場合は抽選となります。
- (※2) 座席は、杉田劇場で指定させていただきます。
- (※3) ④申込み人数には、実際に必要となる座席数をご記入ください。(未就学児のお子様は膝上鑑賞も可能です。)なるべく多くの方にご来場いただけるよう、ご協力をお願いいたします。
- (※4) 7月23日(月)より抽選結果を送付いたします。返信はがきが届かない場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

主催 横浜市磯子区明るい選挙推進協議会

共催 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/
特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アイコニクス/株式会社ニックスサービス 共同事業体)

お問合せ先

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場

TEL: 045-771-1212

FAX: 045-770-5656 (9:00~21:00)

是枝監督 製作・プロデュース

エンディングノート書き方講座 同時開催

磯子区版エンディングノートを無料でさし上げます！

入場無料

映画「エンディングノート」上映会



「娘」が撮り続けた
膨大な家族の記録。
感動のエンターテインメント・
ドキュメンタリー

わたくし、
終活に大忙し。

自分や家族の急な病気や老後について、何か具体的に準備をしていますか？終活のひとつとして映画「エンディングノート」を観て、最後まで自分らしく生きることを考えてみませんか

あらすじ

熱血営業マンとして働き続け67歳で退職したサラリーマンが、第二の人生を歩み始めた矢先にガン宣告を受け、残された家族と自分の人生を総括するために「エンディングノート」を実行していく姿を収めたドキュメンタリー。ガン発覚から半年後、急に訪れた最期。果たして彼は人生最後の一大プロジェクトを無事に成し遂げることができたのか？残された家族は・・・。

©2011「エンディングノート」製作委員会

エンディングノート

砂田麻美第一回監督作品 製作・プロデューサー：是枝裕和
主題歌：ハナレグミ「天国さん」(SPEEDSTAR RECORDS) 音楽：ハナレグミ
出演：砂田知昭 製作：バンダイビジュアル 配給・宣伝：ビターズ・エンド 宣伝協力：PALETTE
企業サポーター：野村證券 ANEER 株式会社 ジュリアンヘルズ 徳島石製株式会社 特別協力：(株)エンディングノートの会

©2011エンディングノートの会 製作委員会 (2011年/日本/カラ /デジタル/90分)

これはあるひとつの家族の物語。
そして、誰にでも訪れる最期の物語。



日時：平成30年7月27日(金)14:00~16:30【開場 13:30】

会場：磯子公会堂 (駐車場有料/ 駐車場が少ないので公共の交通機関をご利用ください)

申し込み不要：先着500名 (当日直接会場にお越しください)

問い合わせ先：磯子区高齢・障害支援課 高齢者支援担当 TEL 045-750-2417

訪問業者の巧みなセールスで 高額リフォーム契約に!?

「屋根の点検」や「排水管洗浄」などを口実とした勧誘には気をつけましょう！

- 「近所を工事しているが、お宅の屋根が傷んでいるようだ」「点検したが修理が必要」と高額な工事をすすめられたが信用できない。
- 高齢の両親宅に初めは「下水道のお掃除をします」と来訪し、結局300万円と高額な風呂場リフォームを契約したようだが解約できないか。

工事の契約は、複数の業者から見積もりを取って慎重に検討を！
困ったときはご相談ください。



お互いに 一声かけて見守りを！



はまのタスケ

消費者トラブル おかしいな、困ったなと思ったら

気軽にご相談を

消費生活相談電話 **845-6666**

〔平日 9:00～18:00〕
〔土・日 9:00～16:45〕

消費生活メールマガジン「週刊 はまのタスケ・メール」のご登録を！

横浜市消費生活総合センター 検索

ひざの痛みと

OPEN
YOKOHAMA
入場無料
申込み不要

第1部 齋藤知行 病院長

ものの忘れ

第2部 秋山治彦 臨床研究部長

2018.7.17(火)

午後1時半～4時

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階

横浜市立脳卒中・神経脊椎センターは、公立の専門病院の使命として、質の高い医療情報を発信していきます。

お問い合わせ

地域連携総合相談室

045-753-2500 (代)

